

7. 決算

7-1・決算とは

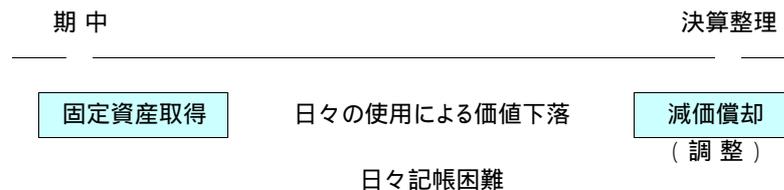
決算とは、企業の一会計期間(1年間)の経営活動をまとめる作業をいう。



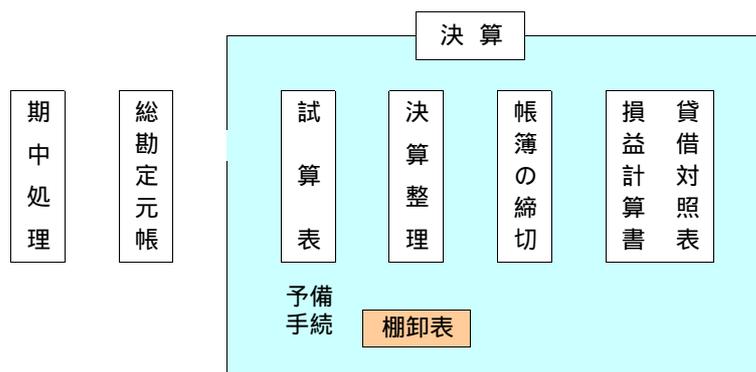
決算は、企業の経営成績や財政状態を把握する目的で行なわれるが、これは総勘定元帳を締切ることによって行なわれる。

7-2・決算整理とは何か

複式簿記の原則に従って期中処理により作成された仕訳帳や総勘定元帳は、必ずしも完全なものとはいえない。これは、期中処理上やむを得ず不完全な処理をしなくてはならないものも存在するからである。



そこで、正しい損益計算書と貸借対照表を作成するため、仕訳により帳簿に一部修正を加えることとなる。この手続きを『決算整理』と呼び、この仕訳を『決算整理仕訳』と呼ぶ。



決算整理は、あらかじめ決算整理事項を列挙した『棚卸表』を作成し、これに基づき決算整理を行う。

7-3・棚卸表の作成

3級の範囲において、各勘定科目の内決算整理が必要なものは以下の勘定科目である。

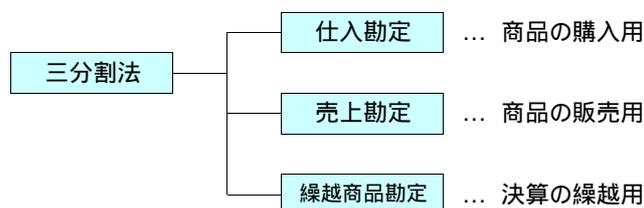
- | | |
|----------------|------------------|
| (1) 現金・現金過不足勘定 | (5) 固定資産勘定 |
| (2) 受取手形・売掛金勘定 | (6) 引出金勘定 |
| (3) 有価証券勘定 | (7) 費用・収益に関する諸勘定 |
| (4) 繰越商品・仕入勘定 | |

棚 卸 表
平成 年12月31日

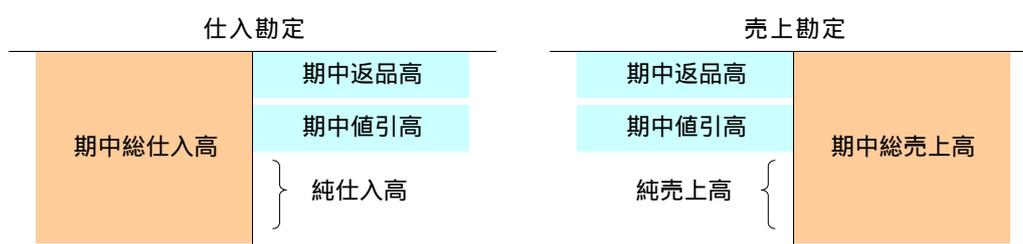
摘 要	内訳金額	金 額
商 品		
A品 100個 @2,500円	250,000	
B品 150個 @3,000円	450,000	700,000
受取手形	300,000	
貸倒引当分	20,000	280,000
売 掛 金	500,000	
貸倒引当分	30,000	470,000
有価証券		
甲社株式 100株 @6,500円	650,000	
評価損	10,000	640,000
備 品		
取得価額	350,000	
減価償却累計額	70,000	
当期減価償却額	10,000	270,000
合 計		2,360,000

7-4・商品売買の三分割法

商品売買を三分割法で処理すると、3つの勘定科目は次のように使用する。



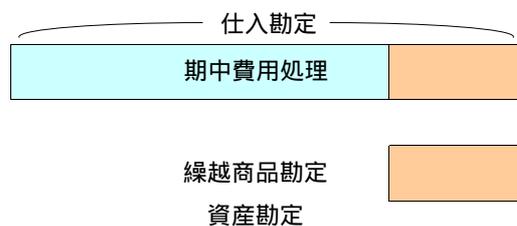
期中においては、仕入・売上勘定のみが使用される。



期中において、繰越商品勘定を用いて処理する取引が発生することはない。従って、前期から繰越された繰越商品勘定は、期首から期末まで全く変化は生じない。

7-5・三分割法の決算整理

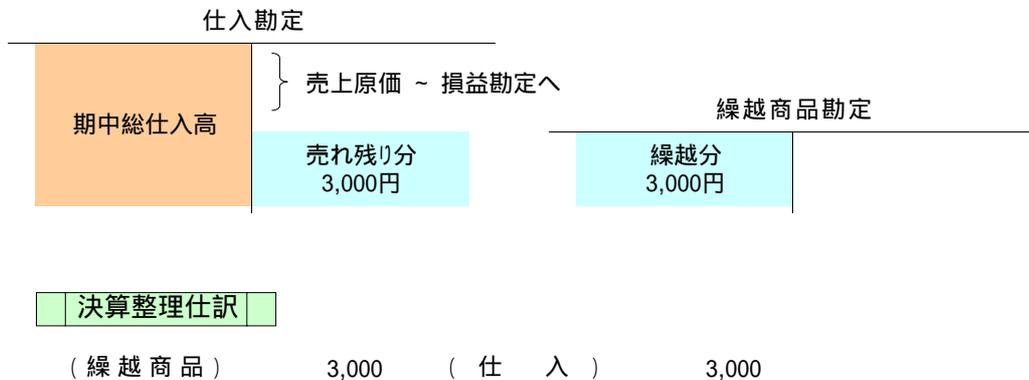
三分割法を採用する場合に、期末において売れ残った商品を費用勘定である仕入勘定にそのまま残しておくことはできない。そこで、売れ残り分は費用勘定である仕入勘定から資産勘定の繰越商品勘定へ振替える。



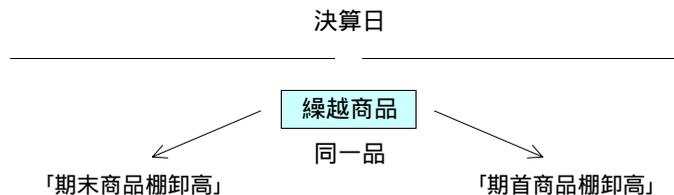
仕入勘定の金額は、最終的に決算振替仕訳により損益勘定に振替えられることになる。そこで期末において売れ残った分を資産勘定である繰越商品勘定に振替えることにより、売れた分のみを仕入勘定に残し、それを当期の売上に対する売上原価として損益勘定に振替えることになる。

< 例 >

期中仕入れた10,000円の商品の内、3,000円は期末において売れ残った。



期末における売れ残り商品を**期末商品棚卸高**と呼び、翌期首には、**期首商品棚卸高**になる。



商品が販売された際の原価を売上原価と呼ぶが、これは商品有高帳により販売の都度把握することができる。ただし、三分割法を採用する場合には、販売の都度この売上原価を会計処理である仕訳上に反映するはしない。この売上原価は、決算整理を通じて仕入勘定の上で算出される。

棚卸商品は、期末に売れ残ったものがそのまま翌期首の棚卸商品となるため、次の算式により各会計期間の売上原価が算出される。

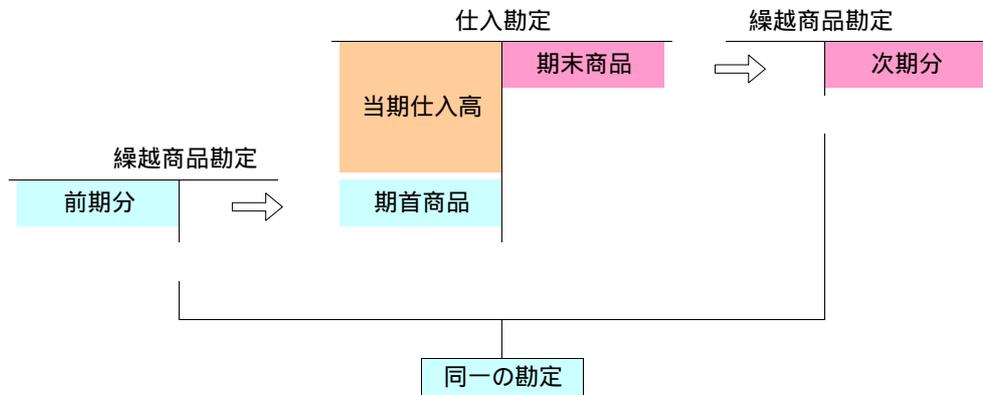
売上原価の公式

重要公式

$$\text{売上原価} = \text{期首商品棚卸高} + \text{当期商品仕入高} - \text{期末商品棚卸高}$$

7-6・仕入勘定による売上原価の算出

決算において、仕入勘定と繰越商品勘定の2つの勘定科目を用いて当期の売上原価を算出する。



決算整理仕訳を理解するためには、繰越商品勘定(資産)の借方と貸方にどのようなものが記入されているかを理解するのが重要なポイントである。



7-7・三分割法の決算整理仕訳

しい		くり		
(仕入)	xxx	(繰越商品)	xxx	... 期首商品分
くり		しい		
(繰越商品)	xxx	(仕入)	xxx	... 期末商品分

この仕訳は類似する2組の仕訳であり、2つの勘定科目しか使用しないため大変まぎらわしい。そこで下記の語呂でこの仕訳を暗記しておくとい。

しい くり くり しい (仕, 繰, 仕, 繰)

< 例 >

下記に示す資料により、仕入勘定で売上原価を算出する決算整理仕訳を示せ。なお、期末商品棚卸高は3,000円である。

繰越商品勘定		仕入勘定	
前期繰越 2,000		当期仕入 19,000	

< 解答 >

1. 前期繰越の商品2,000円を、繰越商品勘定から仕入勘定へ振替える。

(仕 入) 2,000 (繰 越 商 品) 2,000 ... A

2. 期末に売れ残った商品3,000円を仕入勘定から繰越商品勘定へ振替える。

(繰 越 商 品) 3,000 (仕 入) 3,000 ... B

< 解説 >

仕訳をそれぞれ転記すると次のようになる。

繰越商品勘定			
前期繰越	2,000	A 仕入	2,000
B 仕入	3,000	} 次期繰越	

仕入勘定			
当期仕入高	19,000	B繰越商品	3,000
A繰越商品	2,000	} 売上原価 18,000	

< 当期中の売上原価 >

売上原価 期首商品 当期仕入 期末商品
 $18,000 = 2,000 + 19,000 - 3,000$